

コンプライアンス管理



目次

1.監査ログ	3
1.1概要	3
1.2メールボックス監査ログの構成	4
1.3監査ログのエクスポート	6
2.ジャーナルルール	10
2.1概要	10
2.2配信できないジャーナルレポートの送信先の指定	11
2.3ジャーナルルールの作成	13
2.4ジャーナルレポートの参照	15



1. 監査ログ

この章では、監査ログ機能について説明します。

■1.1 概要

監査ログでは、管理者が行った特定の変更を追跡して構成上の問題のトラブル シューティングを行ったり、法規制、法令遵守、および訴訟の要件を満たすために 役立てることができます。

Exchange Onlineには、次の2 種類の監査ログが用意されています。

く管理者監査ログ>

管理者監査ログには、管理者や、管理者特権が割り当てられているユーザーによって実行 された個々の操作が記録されます。Exchange 管理シェルコマンドレットに基づく操作のう ち、Get、Search、Testのいずれかの動詞で始まるものを除くすべての操作が管理者監査ロ グに記録されます。したがって、管理者がシェル、Exchange 管理センター(EAC)、または Outlook Web App > [オプション]を使用して、オブジェクトの作成、変更、または削除を 伴う操作を実行するたびに、その操作が管理者監査ログに記録されます。 管理者監査ログのエントリを検索してエクスポートすると、検索結果がXML ファイルに保 存されて、指定した受信者に電子メールメッセージの添付ファイルとして送信されます。

<メールボックス監査ログ>

メールボックスでメールボックス監査が有効になっている場合、所有者以外のユーザーが そのメールボックスにアクセスするたびに、メールボックス監査ログに情報が記録されま す。各ログエントリには、メールボックスにアクセスしたユーザーとアクセスの日時、所 有者以外のユーザーが実行した操作、およびその操作が成功したかどうかの情報が含まれ ています。既定では、メールボックス監査ログのエントリは90日間保持されます。メー ルボックス監査ログを使用すると、所有者以外のユーザーがメールボックスにアクセスし たかどうかを確認できます。

メールボックス監査ログのエントリをエクスポートすると、エントリがXML ファイルに保 存されて、指定した受信者に電子メールメッセージの添付ファイルとして送信されます。

また、この他に3種類の監査レポートが用意されています。

<所有者以外のメールボックスアクセスのレポート>

所有者以外のユーザーがアクセスしたメールボックスの一覧が表示されます。メールボッ クスが所有者以外にアクセスされると、その操作に関する情報がメールボックス監査ログ に記録されます。ログの各エントリには、所有者以外にアクセスされたメールボックスの 一覧と、アクセスしたユーザー、アクセスされた日時、実行された操作、およびその操作 が成功したかどうかの情報が含まれています。既定では、メールボックス監査ログのエン トリは90 日間保持されます。

メールボックスでメールボックス監査ログを有効にすると、所有者以外のユーザーによる 個々の操作がログに記録されます。所有者以外のユーザーには、管理者と、メールボック スに対するアクセス許可が割り当てられているユーザー(委任されたユーザー)の両方が含 まれます。組織の内部または外部のユーザーのみに検索を絞り込むこともできます。





<管理者の役割グループレポート>

管理者が役割グループを変更すると、その操作に関する情報が管理者監査ログに記録され ます。各エントリには、変更された役割グループ、変更者、変更日時、および変更内容が 含まれています。管理者の役割グループレポートでは、次のような変更が記録されます。

・役割グループの作成、コピー、および削除

・メンバーの追加および削除

<インプレースの証拠開示と保持レポート>

インプレース保持におかれた、またはインプレース保持から削除されたメールボックスを 表示します。

くメールボックスごとの訴訟ホールドレポート>

訴訟ホールドレポートを使用すると、一定の期間内にメールボックスに加えられた次のよ うな変更を追跡することができます。

- ・訴訟ホールドが有効になった。
- ・訴訟ホールドが無効になった。

上記の変更それぞれについて、変更を加えたユーザーと変更が加えられた日時がレポート に示されます。

■1.2 メールボックス監査ログの作成

メールボックス監査ログは既定で無効になっています。メールボックス監査ログ、 所有者以外のメールボックスアクセスのレポートを取得する場合は、事前にメール ボックス監査ログを有効化しておく必要があります。

※その他の監査ログ、監査レポートは既定で有効です。



任意のWindows PowerShellがインストールされた端末上で操作します。

[スタート] メニューから [アクセサリ] ー [Windows PowerShell] と展開し、
 [Windows PowerShell] を起動します。

接続するためには次のコマンドを実行します。

\$LiveCred= Get-Credential





③ Exchange Onlineの管理者アカウントの資格情報を入力します。

Z 管理者: ₩indows PowerShell	
Windows PowerShell Copyright (C) 2009 Microsoft Corporation. All rights reserved.	
PS C:¥Documents and Settings¥822608> \$LiveCred=Get-Credential	
コマンド バイプライン位置 1 のコマンドレット Get-Credential 次のバラメーターに値を指定してください: Credential	
Windows PowerShell 資格情報の要求 ?×	
資格情報を入力してください。	
ユーザー名(型): 💽 💽	
パスワード(<u>P</u>):	
OK キャンセル	

④ 下記のコマンドを実行します。(改行せずに入力します)

\$Session=New-PSSession -ConfigurationName Microsoft.Exchange-ConnectionUri https://outlook.office365.com/powershell-liveid/-Credential \$LiveCred -Authentication Basic -AllowRedirection

<mark>』管理者: Windows PowerShell</mark> PS C:¥Documents and Settings¥822608> \$Session=New-PSSession -ConfigurationName Microsoft.Exchange -ConnectionUri https:/ /ps.outlook.com/powershell/ -Credential \$LiveCred -Authentication Basic -AllowRedirection 警告: 接続は次の URI にリダイレクトされました。『https://pod51003psh.outlook.com/PowerShell-LiveID?PSVersion=2.0 " PS C:¥Documents and Settings¥822608>

⑤ 下記のコマンドを実行します。



Import-PSSession\$Session



⑥以下のコマンドを実行します。

Set-Mailboxuser01 -AuditEnabled \$true

⑦ 組織のすべてのユーザーメールボックスでメールボックス監査を有効にするには、 以下のコマンドを実行します。

\$UserMailboxes = Get-mailbox -Filter {(RecipientTypeDetails -eq 'UserMailbox')}\$UserMailboxes | ForEach {Set-Mailbox \$_.Identity -AuditEnabled \$true}

■1.3 監査ログのエクスポート

監査ログをエクスポートする手順は、以下の通りです。ここでは、例として[管理者監査ログ]を エクスポートする手順を紹介します。

① Exchange管理センターで、[コンプライアンス管理]、[監査]の順にクリックします。

	Office 365	理者	
Exc	hange 管理セン	-	
ダッシ	ュボード	インプレースの電子情報開示と保持 監査 データ損失防止 アイテム保持ポリシー 保持タグ ジャーナル ルール	
受信	者		
アクセ	ス許可	これらのレポートと監査ログは、所有者以外の何者かがアクセスしたメールボックスの情報や管理者が Exchange 組織に対して行った変更を確認する場合に使用します。検索	結果を
コンプ	ライアンス管理	「「報	
組織		 所有者以外のメールボックス アクセスのレポートの実行 メールボックス監査ログのエクスポート 	
保護		メールボックス監査U2を従来し、所有者以外の加者がによって、ゲクセスされにメールボックスを探します。所有者メールボックスの部所有者以外からのアクセス 以外からのメールボックスへのアクセスしポートを実行するには、各メールボックスについてメールボックス酸蜜ロウ を有効にする心寒があります。対象のメールボックスマメールボックス警査ログが有効になっていなメリ線合は、アのル、おわます。 詳細情報	に関する メッセー
高度	な脅威	ポートを実行しても結果は得られません。詳細情報	

② [管理者監査ログのエクスポート]をクリックします。

インプレースの電子情報開示と保持 監査 データ損失防止 アイテム保持ポリ	シー 保持タグ ジャーナル ルール
これらのレポートと監査ログは、所有者以外の何者かがアクセスしたメールボックスの情報や管理者が Exchange 組織にう 情報	付して行った変更を確認する場合に使用します。検索結果をエクスボートし、自分や他のユーザーに送信できます。詳細
の所有者以外のメールボックスアクセスのレポートの実行 メールボックス監査ログを検索し、所有者以外の何者かによってアクセスされたメールボックスを探します。所有者 以外からのメールボックスへのアクセスレポートを実行するには、各メールボックスにソールボックスの監査ログ を有効にする必要があります。対象のメールボックスでメールボックス監査ログが有効になっていない場合は、このレ ボートを実行しても結果は得られません。詳細情報	 メールボックス監査ログのエクスポート メールボックスへの所有者以外からのアクセスに関する、メールボックス監査ログのエントリをエクスポートします。監査ログのエントリは XML ファイルに保存され、メッセージの添付ファイルとして 24 時間以内に指定受信者に送信されます。詳細情報
。管理者の役割グループレポートの実行 役割グループに加えられた変更に関する管理者監査ログを検索します。この役割グループは、ユーザーに管理者 権限を割り当てるために使用されます。詳細情報	◎ 管理者監査ログレポートを実行 組織内で管理者が行った構成変更に関する管理者監査ログのエントリを表示します。詳細情報
⁸ インプレースの電子情報開示と保持レポートの実行 インプレースの電子情報開示の検索とインプレースホールドの変更を、管理者の監査ログで検索します。詳細情 報	管理者監査ログのエクスポート 組織に対して行われた堪思の応用に 引する管理者監査ログからエントリをエクスポートします。監査ログのエントリ は XML ファイルに保存され、メッセージに添付された形で 24 時間以内に指定受信者に送信されます。詳細情 載



③ 検索対象の期間を選択します。また、監査レポートの送信先メールボックスを 選択するため、[ユーザーの選択]をクリックします。

管理者監査ログのエ	クスポート		
管理者監査ログからエントリをエク リは XML ファイルに保存されます	クスポートします。日付の範囲と結果を逆 す。このファイルはメッセージに添付され、2	5信するユーザーを選択しま 24 時間以内に指定したユ	す。指定した日付範囲の監査ログェント −ザーに送信されます。詳細情報
*開始日:			
2017	✔ 3月	28	\checkmark
*終了日:			
2017	✔ 4月	✓ 12	~
*監査レポートの送信先:			ユーザーの選択

④ 送信先となるユーザーを選択して[追加]し、[OK]をクリックします。

3X/M		プライマリ メール アドレス
クラウド		cloud@testcsc.onmicrosoft.com
クラウドサポート		c-support@testcsc.onmicrosoft.com
デモユーザー 1		demo1@testcsc.onmicrosoft.com
マネージャー		mgr@testcsc.onmicrosoft.com
企画部		kikaku@testcsc.onmicrosoft.com
取引先A社		companya@cloud-all.co.jp
人事採用担当		saiyo@testcsc.onmicrosoft.com
総務部		soumu@testcsc.onmicrosoft.com
本社会議室 301		honsya301@testcsc.onmicrosoft.com
一覧からユーザーを選択し るには、メール アドレスを入	、[追加] 、カし、[名	をクリックします。一覧に含まれていない受信者を追加 G前の確認] をクリックします。
一覧からユーザーを選択し るには、メール アドレスを入 追加 ->	、[追加] カし、[名 デ	をクリックします。一覧に含まれていない受信者を追加 呂前の確認] をクリックします。 デモユーザー 1 (削除);
ー覧からユーザーを選択し るには、メール アドレスを入 追加 -> 名前の確認	、[追加] カし、[名 デ	をクリックします。一覧に含まれていない受信者を追加 呂前の確認] をクリックします。 デモユーザー 1 (削除);

2 . ² 2

7



管理者監査ログのエクスポート	
管理者監査ログからエントリをエクスポートします。日付の範囲と結果を送信するユー リは XML ファイルに保存されます。このファイルはメッセージに添付され、24 時間以内	・ザーを選択します。指定した日付範囲の監査ログエント 3に指定したユーザーに送信されます。詳細情報
*開始日: 2017 又 3月 又 28	V
^{Re} 」日: 2017 又 4月 又 12	V
*監査レポートの送信先:	
781-9-1	X ユーザーの進択
	エクスポート キャンセル

⑥ 送信先のメールボックスにアクセスし、添付されているXML形式の監査レポートを確認します。 XMLファイルをExcel等で開くと、以下のように参照可能です。

アイル ホーム 神川 -ブル名: -ブル1 -テーブルのサイズ変更 -ブロバラッ	人 ページレイアウト ビボットテーブルで集計 単重複の削除	数式 	秋間 表示	7942					a (
ブル名: ブル1 テーブルのサイズ変更	図ビボットテーブルで集計		「 プロパティ	1791 B Mart 157	and the second second second					
ブル1 テーブルのサイズ変更	「重複の副除			国連切り行	最初の列				-	
テーブルのサイズ変更	and the state of t	* .	耳。ブラウザーで開く	□ 集計行	最後の列					
Thirty	前期に変換	エクスホート 更新	25 いっか知知	☑ 稿模様 (行	F) 🗍 稿模様 (列)					
20/174	ツール	外部のテ・	-ブル データ	テーブルス	タイルのオプション		テーブル スタイル			
A1	• (= f_x C;	aller								
Caller				* Cmdlet		▼ ObjectModified			* RunDate	
APCPR02A001.pr	od outlook com/Micr	osoft Exchange	Hosted Organizat	ions New-Ad	iminAuditLogSean	h AuditLogSearch¥741a	daf6-5cbc-4c18-9	35b-5d37b1848f40	2013-02	-22102
APCPR02A001.pr	ad outlook com/Micr	psoft Exchange	Hosted Organizat	ions New-Ad	minAuditLogSean	h AuditLogSearch¥741a	daf6-5cbc-4c18-9	35b-5d37b1848f40	2013-02	2-22102
APCPR02A001 pr	nd outlook com/Micr	nsoft Exchange	Hosted Organizat	ions New-Ad	iminAuditLogSean	h AuditLogSearch¥741a	daf6-5cbc-4c18-9	35b-5d37b1848f40	2013-02	-22T02
APCPR02A001 pr	nd outlook com/Micr	nsoft Exchange	Hosted Organizat	ions New-Ad	minAuditLogSean	h AuditLogSearch¥569fr	it ea-ad48-4de8-b	ebt -af8f4a12f71 c	2013-02	-22102
APOPRO2A001 or	nd outlook com/Micr	nsoft Exchange	Hosted Organizat	ions New-Ad	iminAuditLogSean	h AuditLogSearch¥569fr	it ea-ad48-4de8-b	eht -af8f4a12f71 c	2013-02	-22T02
APC/PR02A001 or	nd outlook com/Micr	nsoft Exchange	Hosted Organizat	ions New-Ad	minAuditLogSean	h Auditi ngSearch¥569fr	it ea-ad48-4de8-b	eht -af8f4a12f71 c	2013-02	-22TO2
APOPRO2A001 pt	nd outlook com/Micr	neoft Exchange	Hosted Organizat	inne Set-Mai	lhox	tateunari	100 0010 1000 0		2013-02	-22TO2
APCPR02A001 or	ad outlook com/Micr	neoft Exchange	Hosted Organizat	ione Set-Mai	ilhov	tateunari			2013-02	-22TO2
APC PPO2 A001 pr	od outlook com/Micr	neoft Exchange	Hosted Organizat	ione Set-Mai	llbox	and			2019-02	-00100
ADODDO2A001 pr	ad aution k com/Micr	neoft Evolvange	Hosted Organizat	long Cat-Mai	libery	aut			2013 02	-00100
APOPROZACO1 pr	od outlook com/ Mich	osoft Exchange	Hosted Organizat	Ions Set-Mai	libo x	01			2013-02	-22102
APOPROZACOT DI	od.outlook.com/ Mich	osoft Exchange	Hosted Organizat	Ions Set-Mai	IIDO X	ell			2013-02	-22102
APCPR02AUUT.pr	od.outlook.com/ Micr	osoft Exchange	Hosted Urganizat	ions Set-Mai	IDO X	eu			2013-02	-22102
APCPR02AUUT pr	od.outlook.com/Micr	osoft Exchange	Hosted Organizat	ions Set-I ra	nsportConfig	I ransport Settings	5 J II		2013-02	-18109
APCPR02A001.pr	od.outlook.com/Micr	osoft Exchange	Hosted Organizat	ions Remove	-JournalRule	シャーナル:外部列して	0x-10		2013-02	-18108
APCPR02A001_pr	od.outlook.com/Micr	osoft Exchange	Hosted Organizat	ions New-Sit	te Mailbox	APCPR02A001.prod.ou	utlook.com/Microso	oft Exchange Hoster	1 Organ 201 3-02	-14103
APCPR02A001.pr	od.outlook.com/Micr	osoft Exchange	Hosted Organizat	ions New-Sit	te Mailbox	APCPR02A001.prod.ou	utlook.com/Microso	oft Exchange Hosted	i Orgai 2013-02	2-14T03
APCPR02A001.pr	od.outlook.com/Micr	osoft Exchange	Hosted Organizat	ions New-Sit	te Mailbox	APCPR02A001.prod.ou	utlook.com/Microso	oft Exchange Hoster	1 Orgar 201 3-02	-14103
APC PR02 A001 .pr	od.outlook.com/Micr	osoft Exchange	Hosted Organizat	ions New-Sit	te Mailbox	APCPR02A001.prod.ou	utlook.com/Microso	oft Exchange Hoster	d Orgar2013-02	-14103
APCPR02A001.pn	od.outlook.com/Micr	osoft Exchange	Hosted Organizat	ions New-Sit	te Mailbox	APCPR02A001.prod.ou	utlook.com/Microso	oft Exchange Hosted	d Organ 201 3-02	-14T03
APC PR02 A001 .pr	od.outlook.com/Micr	osoft Exchange	Hosted Organizat	ions Set-Dlp	Policy	個人情報テスト			2013-01	-24T02
APCPR02A001.pr	od.outlook.com/Micr	osoft Exchange	Hosted Organizat	ions Set-Dlp	Policy	個人情報テスト			2013-01	-24T02
APC PR02 A001 .pr	od.outlook.com/Micr	osoft Exchange	Hosted Organizat	ions Enable-I	MailPublicFolder	APCPR02A001.prod.ou	utlook.com/Microso	oft Exchange Hosted	d Orgar 201 3-01	-17T02
APCPR02A001.pr	od.outlook.com/Micr	osoft Exchange	Hosted Organizat	ions Set-Put	blicFolder	¥パブリックフォルダー1			2013-01	-17T02
APCPR02A001.pr	od.outlook.com/Micr	osoft Exchange	Hosted Organizat	ions New-Pu	ublicFolder	¥パブリックフォルダー1			2013-01	-17T02
APCPR02A001.pr	od.outlook.com/Micr	osoft Exchange	Hosted Organizat	ions New-Pu	ublicFolder	¥パブリックフォルダー1			2013-01	-17T02
APCPR02A001.pr	od.outlook.com/Micr	osoft Exchange	Hosted Organizat	ions New-Ma	ailbox	APCPR02A001.prod.ou	utlook.com/Microso	oft Exchange Hoster	i Orgar 201 3-01	-17T02
APCPR02A001 or	od.outlook.com/Micr	osoft Exchange	Hosted Organizat	ions New-Ma	ailbox	APCPR02A001 produc	tlook.com/Microso	oft Exchange Hoster	Orgar 201 3-01	-17T02
APCPR02A001 or	nd outlook com/Micr	nsoft Exchange	Hosted Organizat	ions Set-Use	rPhoto	eji		and an	2013-01	-11 TO2
APCPR02A001 on	nd outlook com/Micr	nsoft Exchange	Hosted Organizat	ions Set-Like	arPhoto	eli			2013-01	-11 TO2
APCPR02A001 pr	nd outlook com/Micr	nsoft Exchange	Hosted Organizat	inns Set-Like	erPhoto	eli			2013-01	-11T02
I H Sheet1 She	eet2 Sheet3	A CONTRACTOR OF THE					(81			*
D/F									100% 🗩 🚽	

<監査ログエントリのフィールド>

フィールド	説明
ObjectModified	CmdletNameフィールドのコマンドレットによって変更されたオブジェクト が含まれます。
Caller	CmdletName フィールドのコマンドレットを実行したユーザーのユー ザーアカウントが含まれます。
CmdletName	Caller フィールドのユーザーによって実行されたコマンドレットの名前 が含まれます。
RunDate	CmdletName フィールドのコマンドレットが実行された日時が含まれます。 す。日時は、世界協定時刻(UTC) 形式で格納されます。
Succeeded	CmdletNameフィールドのコマンドレットが正常に実行されたかどうかを示します。 値は、 True またはFalse のどちらかです。
Error	CmdletName フィールドのコマンドレットが正常に完了しなかった場合 に生成されるエラーメッセージが含まれます。
CmdletParameters	CmdletName フィールドのコマンドレットが実行されたときに指定され たパラメーターが含まれます。パラメーターで指定された値があれば、 それもこのフィールドに格納されます(既定の出力では表示されません)。
ModifiedProperties	ObjectModified フィールドのオブジェクトで変更されたプロパティが含 まれます。(LogLevelがverboseに設定されている場合のみ)
OriginatingServer	CmdletNameフィールドのコマンドレットが実行されたサーバーを示します。

●監査ログエントリのフィールド詳細については、以下のURLをご参照ください。

http://technet.microsoft.com/ja-JP/library/dd335144(v=exchg.150).aspx



2. ジャーナルルール

この章では、ジャーナルルール機能について説明します。

■2.1 概要

ジャーナルルールとは、受信者が送受信した電子メールを記録する(ジャーナル処理を行う) ために利用する機能です。ジャーナルルールで定義した条件にメールが一致した場合、その メールはジャーナル処理されます。

管理者は、SMTP によるメッセージの受信が可能な外部の電子メールアドレスにジャーナリング するようにExchange Online を構成することができます。たとえば、管理者は電子メールを社内 設置型のアーカイブソリューションにジャーナリングできます。

ジャーナルルールは、Exchange 管理センターから作成できます。ユーザーごと、および配布グ ループごとにジャーナリングを構成して、ジャーナリングの範囲を内部受信者、外部受信者、ま たはその両方に指定できます。ジャーナリングされたメッセージには、元のメッセージだけでなく、 送信者、受信者、CC、BCC に関する情報も含まれます。

ジャーナルルールの関連用語

ジャーナルルールは、次の要素で構成されます。

<ジャーナル受信者>

ジャーナル処理の対象となる受信者を定義します。アドレス帳に登録されたメールボックス、連絡先、 配布グループを指定することができます。

<ジャーナルルールのスコープ>

ジャーナル処理の対象とするメッセージの範囲です。 以下の3種類のスコープから選択することができます。

▶すべてのメッセージ:送信元や送信先に関係なく、すべてのメッセージをジャーナル処理します。

- ▶ 内部メッセージのみ:内部送信者から送信され、受信者のうち少なくとも1 人が内部受信者である メッセージをジャーナル処理します。送信者が内部でも、受信者が全員外部である場合、メッセー ジはジャーナル処理されません。送信者が外部で受信者が内部である場合も、メッセージは ジャーナル処理されません。
- ▶ 外部メッセージのみ:組織外の受信者が送受信したメッセージをジャーナル処理します。

<ジャーナリングメールボックス>

ジャーナル処理されたメールを格納する外部のメールボックスです。このメールボックスには、ジャーナル処理されたメールがジャーナルレポート形式で格納され、管理者が監査等を行うことができます。





<配信不能なジャーナルレポートの受信者>

ジャーナルレポートが失われるリスクを軽減するために、ジャーナリングメールボックスへメールが配信 できない場合のジャーナルレポートの配信先を指定することができます。 試行を繰り返しても配信できないジャーナルレポートは、最終的に期限切れとなり、削除されます。こ れは、法規制や組織の準拠要件に対応するうえで問題となる場合があります。ジャーナルレポートの NDR を受信する受信者を構成すれば、ジャーナルレポートが削除される前に、送信先メールボックス に関する問題を修正する時間を持つことができます。

インプレージ	スの電子情報開示と保持 監査 データ損	失防止 アイテム保持ポリシー 保持タグ	ジャーナル ルール
組織における電 配信できないジャ 十 🖍 面	マントル保存戦略またはアーカイブ戦略の支援として、ジャーナル ーナル レポートの送信先: アドレスの選択 ②	ルールを使用してすべての通信を記録します。詳細情報	
オン	ルール	ユーザー	ジャーナル レポートの送信先
2	外部メールのジャーナル		journalmail@mail.prm-43.jp

■2.2 配信できないジャーナルレポートの送信先の指定

① Exchange 管理センターで、[コンプライアンス管理]、[ジャーナルルール]の順にクリックします。

Exchange 管理セン・	9—			
ダッシュボード	インプレースの	電子情報開示と保持 監査 データ損失防止	アイテム保持ポリシー 保持タグ ジャーナルルール	
受信者				
アクセス許可	組織における電子メ	ール保存戦略またはアーカイブ戦略の支援として、ジャーナル ルールを使用	目してすべての通信を記録します。詳細情報	
コンプライアンス管理	配信できないジャーナル	レポートの送信先: アドレスの選択		
組織	オンルー	ll	1- 1 -	ジャーナル レポートの送信先
保護			このビューに表示するアイテムはありません。	
高度な脅威				





② [配信できないジャーナルレポートの送信先]で[アドレスの選択]をクリックします。

Exchange 管理セン	9-
ダッシュボード	インプレースの電子情報開示と保持 監査 データ損失防止 アイテム保持ポリシー 保持タグ ジャーナルルール
受信者	
アクセス許可	組織における電子メール保存戦略またはアーカイブ戦略の支援として、ジャーナル ルールを使用してすべての通信を記録します。詳細情報
コンプライアンス管理	配信できないジャーナルレポートの送信 お アドレスの選択
組織	T / / ール ユーザー
保護	このビューに表示するアイテムはありません。
高度な脅威	

③ [参照]ボタンをクリックします。一覧より送信先のアドレスを選択し[OK]をクリックします。 この例では、クラウドを選択します。

配信不能レポート		٩
配信できないジャーナルレポートの送信先: 参照 保存 キャンセル	表示名 クラウド クラウドサポート デモユーザー1 マネージャー 企画部 取引先A社 人事採用担当 総務部 本社会議室 301	プライマリメールアドレス cloud@testcsc.onmicrosoft.com demo1@testcsc.onmicrosoft.com mgr@testcsc.onmicrosoft.com kikaku@testcsc.onmicrosoft.com companya@cloud-all.co.jp saiyo@testcsc.onmicrosoft.com soumu@testcsc.onmicrosoft.com honsya301@testcsc.onmicrosoft.com honsya301@testcsc.onmicrosoft.com

④ 送信先の電子メールアドレスが正しいことを確認し[保存]をクリックします。





⑤ 警告を確認し[OK]をクリックします。



⑥ [配信できないジャーナルレポートの送信先]に電子メールアドレスが設定されていることを 確認します。

Exchange 管理セン	9-		
ダッシュボード	インプレースの電子情報開示と保持 監査 データ損失防止 アイテム保持ポリシー 保持タグ ジャーナルルール		
受信者			
アクセス許可	組織における電子メール保存戦略またはアーカイブ戦略の支援として、ジャーナル ルールを使用してすべての通信を記録します。詳細情報		
コンプライアンス管理	配信できないジャーナルレポートの送信先 cloud@testcsc.onmicrosoft.com		
組織	T / 一 川 ー ル ユーザー		
保護	このビューに表示するアイテムはありません。		
高度な脅威			

■2.3 ジャーナルルールの作成

① Exchange 管理センターで、[コンプライアンス管理]、[ジャーナルルール]の順にクリックします。

Exchange 管理セン	9—			
ダッシュボード	インプレースの電子情報	跟開示と保持 監査 データ損失防止	アイテム保持ポリシー 保持タグ	ジャーナル ルール
受信者				
アクセス許可	組織における電子メール保存戦略	またはアーカイブ戦略の支援として、ジャーナル ルールを使用	してすべての通信を記録します。詳細情報	
コンプライアンス管理	配信できないジャーナルレポートの送信先:アドレスの選択			
組織	オン ルール		ユーザー	ジャーナル レポートの送信先
保護			このビューに表示するアイテムはありません。	
高度な脅威				





③ [ジャーナルルールの新規作成]ダイアログで、ルールを定義します。

ジャーナル ルールの新規作成		
このルールを適用します		
*ジャーナル レポートの送信先:		
28579@cloud-all.jp		
名前:		
外部メールのジャーナル		
*メッセージの送信先または受信元が次の場合…		
[すべてのメッセージに適用] ▼		
*以下のメッセージをジャーナリングします		
外部メッセージのみ ▼		
	保存	キャンセル
	U SI J	1170/

フィールド	説明
ジャーナルレポーの送信先	外部のメールアドレスを指定
名前	ジャーナルルールの名前を指定
メッセージの送信先または 受信元が次の場合	特定のユーザーまたはグループ [すべてのメッセージに適用]
以下のメールを ジャーナリングします…	すべてのメッセージ 内部メッセージのみ 外部メッセージのみ





④ 設定完了後、[保存]をクリックします。次の警告メッセージが表示されます。
 [はい]をクリックします。

警告
このルールを今後受信するすべてのメッセージに適用しますか?
はい いいえ

⑤ジャーナルルールが作成されます。有効であることを確認します。

■2.4 ジャーナルレポートの参照

ジャーナル処理されたメールのコピーは、「ジャーナルレポートの送信先」で指定した外部の 電子メールアドレスに送信されます。ジャーナル処理されたメールは、ジャーナルレポートの 形式で格納されます。元のメッセージは添付ファイルの形式で保管されます。 ジャーナルレポートは、メッセージがジャーナルルールと一致するときに生成されるメッセージ です。ジャーナルレポートの本文には、送信者の電子メールアドレス、メッセージの件名、メッ セージID、および受信者の電子メールアドレスなど、元のメッセージの情報が含まれます。ま た、ジャーナルレポートには、未変更の元のメッセージが添付ファイルとして含まれます。この ようなメッセージジャーナリングは、エンベロープジャーナリングとも呼ばれます。

補足

ジャーナリングメールボックスには、機密性の高い情報が含まれる場合があります。組織内で ジャーナリングメールボックスにアクセスできるユーザーを制御し、ジャーナリングメールボックスに どうしてもアクセスする必要がある個人にアクセスを限定する組織全体のポリシーを作成することを お勧めします。



① ジャーナルレポートの配信先のメールボックスにアクセスできるメールクライアントを利用し、 ジャーナルメールボックスにアクセスします。

.

د ا ر





16